

19 安心・安全の課題解消に向けた、道路や橋りょうの防災・減災対策の推進

京都市は国道・府道も含めて、市内 3,604 km の道路の 99% (3,554 km)、市内 2,979 橋のうち 96% (2,860 橋) を管理しています。自然災害の猛威に対応するための、避難・物資運搬を担う道路網の確保、山間部と市街地とを結ぶ地域住民の生命線である道路機能の確保など、市民の安心・安全を最大限確保する防災・減災対策を推進していくため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 鴨川東岸線をはじめとした道路整備の推進に必要な財政支援
- (2) 道路の更なる防災機能強化や、予防保全段階での修繕に必要な財政支援
- (3) 橋りょう健全化対策の推進に必要な財政支援
- (4) 道路の用地取得に係る補助金の制度拡充や、法定点検の着実な推進に資する地方債の対象拡大
- (5) ボトルネックを解消する堀川バイパストンネルの可能性等の調査や京都南ジャンクション（仮称）の整備

鴨川東岸線をはじめとした道路整備の推進に必要な財政支援

課題

交付金の配分不足により、完成予定年度を公表している路線の完成が遅れるなど、地方が真に必要なとする事業の進捗が十分に図れない。

要望

- ・ 交付金の増額、効果の高い事業への重点配分が必要
- ・ 進捗状況等に応じた重点的な支援が必要

効果

- ・ 地域の実情や課題に応じた道路整備が可能に！
- ・ 早期に事業効果が発現

【鴨川東岸線整備状況】



道路の更なる防災機能強化や、予防保全段階での修繕に必要な財政支援

課題

交付金の配分不足により、道路のり面の防災対策について、十分な進捗が図れない。また、舗装の効率的な維持管理に努めているが、修繕が追い付いていない。

要望

道路のり面の防災対策や舗装修繕について、交付金事業の重点配分化が必要

効果

- ・ 緊急輸送道路等において、災害時の輸送機能を確保
- ・ 予防保全段階での修繕を着実に実施することで、ライフサイクルコストを縮減

【土砂災害発生状況】



橋りょう健全化対策の推進に必要な財政支援

課題

「橋りょう健全化プログラム」(第2期)に基づく健全化対策を完遂するため、平成 29～33 年度に約 130 億円が必要であるが、交付金の配分が不足すると事業進捗に影響が生じる。

要望

健全化プログラムに基づく対策を着実に推進するため、国の十分な財政支援が必要

効果

- ・ 緊急輸送道路等において、災害時の輸送機能を確保
- ・ 予防保全型維持管理により、経費を縮減

【老朽化修繕状況】



道路の用地取得に係る補助金の制度拡充や、法定点検の着実な推進に資する地方債の対象拡大

課題

先行取得した用地を再取得する場合、用地費のみが補助対象(道路局所管事業)

橋りょう等の道路の法定点検が地方債の対象外である中、今後 5 年間で 10 億円の負担が発生する見込み

要望

用地取得に係る補助金制度を拡充し、物件補償も補助金の対象に！

法定点検の着実な推進のため、地方債の対象に！

効果

先行取得の実施により更なる事業進捗を図ることができ、早期に事業効果が発現

財政負担の平準化による法定点検の着実な実施が可能に！

【法定点検状況】

